障がい学生支援室ガイド

～障がい・病気のある学生のための～



琉球大学

障がい学生支援室

University of the Ryukyus Office

for Supporting Students with Disabilities

[令和6年3月発行：7版]

高校までとは違う大学生活について

高校までは時間割が決められ、ほとんどの授業を自身の教室内で受けますが、大学では所属する学部・学科が定める卒業要件を満たす授業を自ら選択し、授業が行われる教室へ移動することとなります。

また、一人暮らしをする学生が増えることから、慣れない環境に戸惑う学生もいます。特に大学1年生では、今まで出来ていたことができなくなったことに悩む学生が多くいます。

まずは相談！

大学生活で困っていることや不安に思っていることがあれば、障がい学生支援室や教員、学部の窓口担当者など・・・まずは相談してください！

どこに相談したらいいのかわからない…という場合でも、初回の相談先から内容に応じて対応先を紹介いたします。

障がい学生支援室を利用される方も、直接相談に訪れる方・学部窓口や保健管理センターから紹介された方・通りがかりにお立ち寄りされる方・保護者や指導教員の先生と一緒に話を聞きに来る方等、きっかけは様々です。

相談の窓口

障がい学生支援室

所属学部窓口

指導教員※

保健管理センター

学生相談室

科目担当教員



※指導教員とは？
琉球大学で学生の学修と充実した学生生活を保障するため、
各学部の各学年に配置されている教職員です。
学生指導や学生相談の役割を担っています。

障がい学生支援室について

◆障がいや病気が理由で、授業や大学生活へ困り感や不安を感じている学生の相談窓口です。

◆大学生活を送る上で抱える困難さは、人それぞれ違います。そのため、学生一人ひとりと対話しながら、障害者差別解消法（※1）に基づいて困難さを解消できるよう合理的配慮（※2）について一緒に考えていきます。

◆医療機関ではないため障がいの診断や治療を行うことはできませんが、障がいの有無にかかわらず情報提供や相談機関の紹介も行っています。



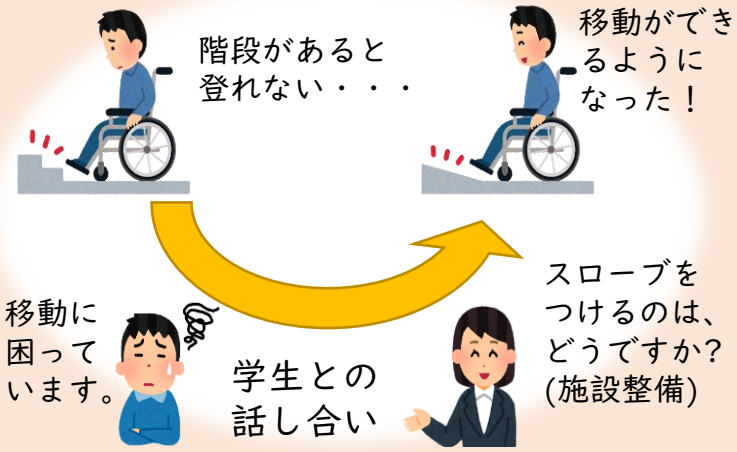
障害者差別解消法（※1）って？

平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(以下、「障害者差別解消法」)が施行されました。
この法律では、障害を理由とする差別の解消を推進し、障害の有無によって分け隔てられることのない社会の実現を目標としています。



合理的配慮（※2）って？

合理的配慮とは、「障害者差別解消法」[※1]に基づいて、障害や病気がある場合においても、平等に教育を受ける権利を享有するために、大学側が障害があることによって生じる困難さを解消するために変更や調整をすることです。ただし、体制面、財政面において均衡を失した又は過度の負担を課さないものとなります。

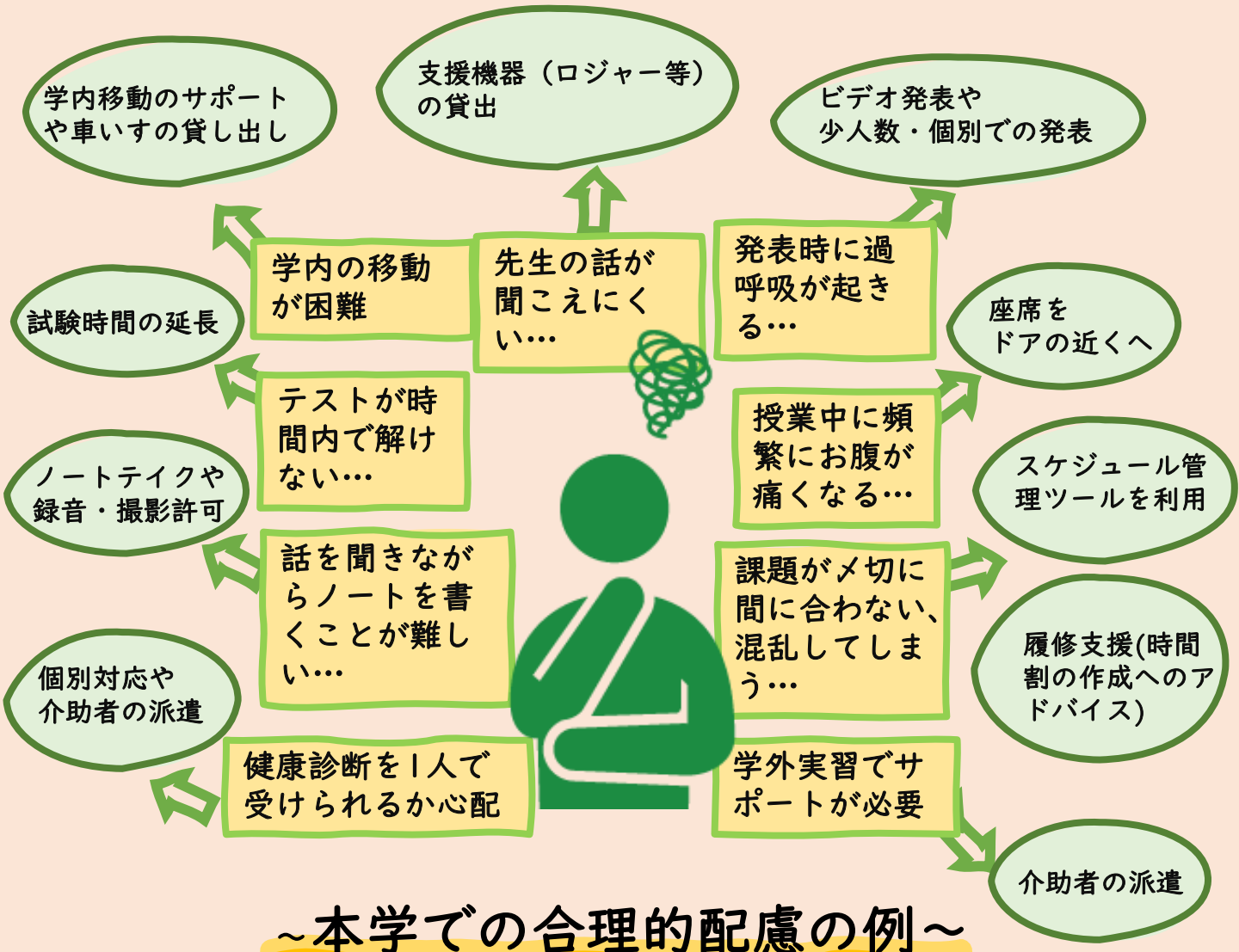


どのようなことに困っていますか？

障がい学生支援室において、専任教員が面談を行い、修学上抱える困難さを確認します。障がいや病気が理由となり修学が困難な学生に対しては、合理的配慮申請書の提出を勧めます。

障がいや病気の種別が同じであっても、学生一人ひとりによって、抱える困難さは違うため、配慮内容は異なる場合があります。

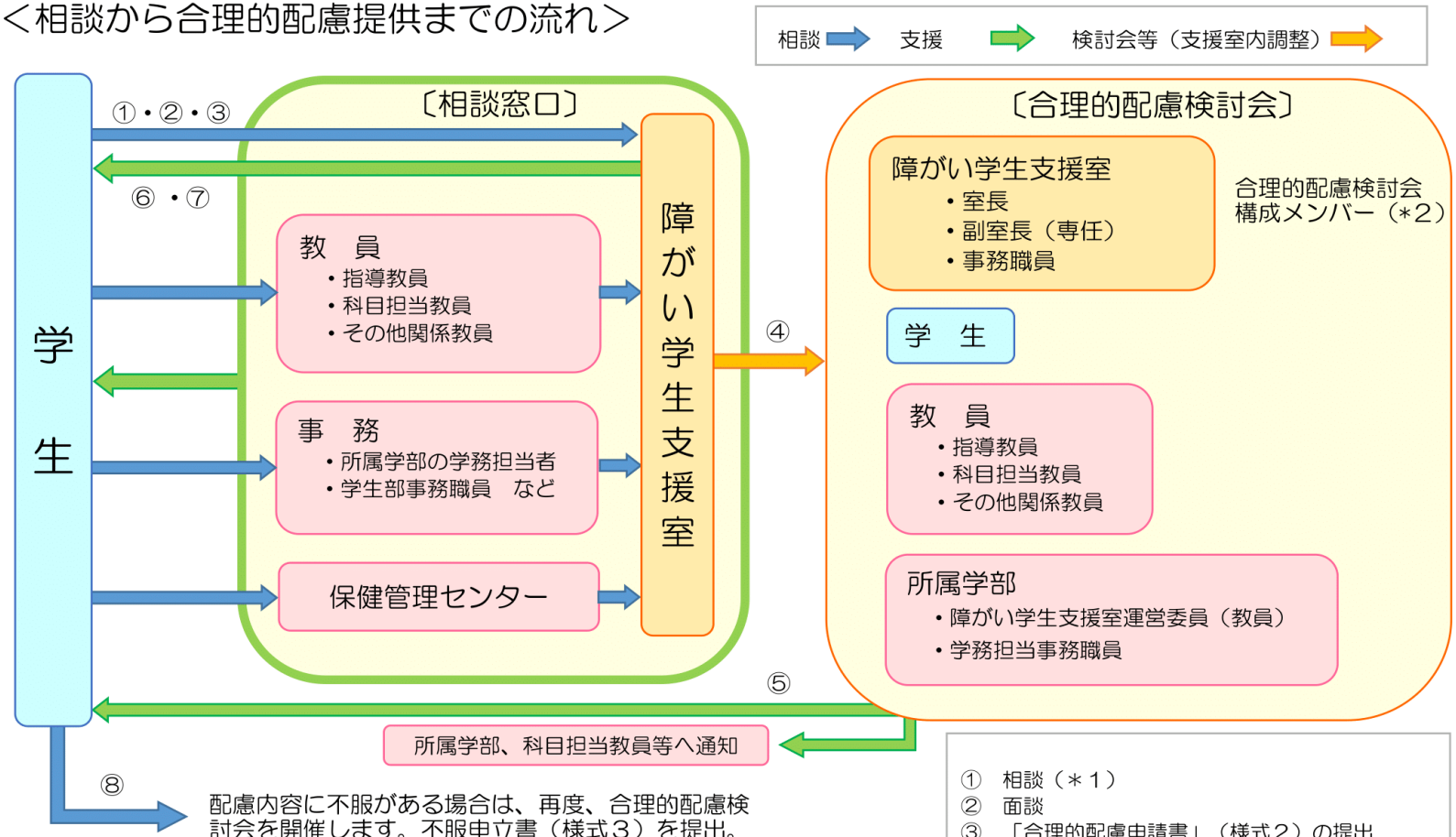
具体的な合理的配慮内容の提供については、障がい学生支援室にて一緒に考えてきます。まずはお気軽にご相談ください！



～本学での合理的配慮の例～

相談から合理的配慮提供までの流れ

＜相談から合理的配慮提供までの流れ＞



① 相談（＊１）
② 面談
③ 「合理的配慮申請書」（様式２）の提出
④ 合理的配慮検討会の実施
⑤ 配慮内容決定通知書の送付
⑥ 支援の提供
⑦ 定期的な面談の実施（学生へのフォロー）
⑧ 不服申立て（様式３）

＊1・・・「①相談」や「③合理的配慮申請書の提出」は、学生が所属する学部の支援窓口等に提出することも可能です。
（窓口担当者一覧は、支援室HP又は「障がい学生支援室の運営等に関する要項」に記載されています。）

＊2・・・支援内容により、構成メンバーは変更する場合もあります。

※学生の他、教職員からの相談も受け付けております。

支援をしたい場合(ボランティア活動)



障がい学生支援室では、障がいのある学生の修学支援等をするボランティア学生を随時募集し、多くの学生が活躍しています。

<ボランティア活動の一例>

・課題やレポート作成時の資料の収集方法やまとめ方のアドバイス
・課題やレポートの提出期限やテスト範囲の確認
・授業の振り返り（重要ポイントの確認等）
・肢体不自由の学生や視覚障がいの学生に対する移動補助

・・などなど

また、ボランティア活動を行うにあたり、基礎的な知識を習得することができるオンラインアクセシビリティ講座が無料で受講可能です。支援に関して自信がない…という方でも、お気軽にお問い合わせください。

スマートフォンでも受講ができる！
オンラインアクセシビリティ講座って？



琉球大学では、アクセシビリティリーダー育成協議会のプログラムを活用し、アクセシビリティオンライン講座の受講を推進しています。

この講座は、障がいの有無や身体特性、年齢や言語・文化の違いなどの多様性を理解し、それぞれの可能性を活かせる社会を構築する人材の育成を目的としています。

少子高齢化やインクルーシブ教育、グローバル化など多様なニーズへの対応が求められる社会において必要とされる意識と知識を学ぶことができる講座となっています。



詳しくはこちら！　→

ボランティア学生への登録方法

ボランティア活動に興味がある学生は、まずはボランティア登録を！
障がい学生支援室ホームページにてボランティア学生登録フォームを設けています。各種ボランティア募集情報や役立つ講座・講習会の情報発信を行っていますので是非ご登録下さい。
ボランティア活動の活動報告も掲載していますので、参考までにご覧ください。

障がい学生支援室HP



ボランティア学生登録フォームより
ご登録ください。



参考資料・関係資料

日本学生支援機構 「教職員のための障害学生修学支援ガイド(平成26年度改訂版)」 https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/guide_kyouzai/guide/index.html	文部科学省 「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報(第一次まとめ)」 https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/12/1329295.htm
「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報(第二次まとめ)」 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/074/gaiyou/1384405.htm	沖縄県バリアフリーマップ　http://okinawa-bf-map.jp/ 沖縄県バリアフリーマップ
沖縄聴覚障害者情報センター　http://www.otjc.org/	沖縄県身体障害者福祉協会　http://www.okisin.jp/index.html
沖縄県発達障がい者支援センター(がじゅま～る) http://www.okinawa-gajyumaru.jp/	沖縄障害者職業センター(就職関係) http://www.jeed.or.jp/location/chiiki/okinawa/
日本学生支援機構(障害学生支援) http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html	日本学生支援機構(障害学生奨学金等の情報) http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/shogakukin/index.htm
全国障害学生支援センター http://www.nscsd.jp/	日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) http://www.pepnet-j.org
クローバーナビ(障がい者のための就職情報サイト) http://www.clover-navi.com/	サーナ(障がい者のための就職情報サイト) https://www.web-sana.com/

支援機器の貸し出しについて







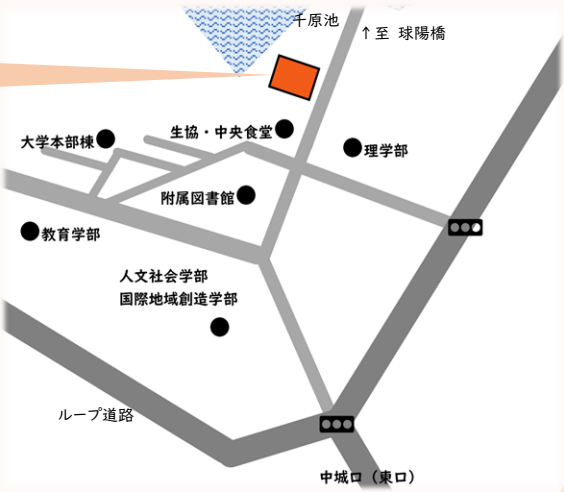

■障がい学生支援室では、支援機器の貸し出しも行っております。手動車いすや、Face Talker、ロジャー、スマートペン、携帯型拡大鏡、等々…
機器リストはホームページにも掲載しています。

■閲覧・貸し出し用の書籍も専門書から漫画まで配置していますので是非お立ち寄りください♪

＜千原キャンパス　マップ＞

障がい学生支援室
全保連ステーション
(大学会館)2階

開室時間
平日（月～金）
8：30～17：00



バリアフリーマップ・トイレマップQRコード

お問い合わせ先

〒903-0213
沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
全保連ステーション (大学会館)2階
TEL:098-895-8750 FAX:098-895-8791
E-mail: g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp
HP : http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/

ホームページ

お問い合わせフォーム